



## 2021 年度事業計画

(2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで)

富山労福協の2020年度は、労働福祉運動の推進と老朽化が進む総合福祉センター（ボルファート会館）の維持管理を第一義として取り組んできました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大が会館運営を直撃し、あらゆる対応策を講じましたが万策尽き、直営による食事の提供を断念せざるを得なくなりました。今日まで、第一線で尽力いただいた職員のみなさんとお支え頂いた関係各位に、感謝とお詫びを申し上げます。昨年9月からは、貸室事業を中心とした再スタートとなりました。また「宴会事業部推進委員会」は「ボルファート推進委員会」と名称を改めて、様々な角度から労福協事業全体の取り組みに対して助言を賜り、親しまれる勤労者の砦として、役職員一同全力で邁進する所存であります。

そのような状況の下、昨年の9月以降、貸室設備の充実を図り営業に全力を挙げるとともに、年末の「おせち」販売にも尽力して利益確保に努めた結果、計画を超過達成することができ、何とか当面の危機を脱することができましたが、更なる経営基盤の強化が求められています。

したがって今回のコロナ危機を克服すべく、収益事業の三位一体を実践するため、必要な改装工事を先送りにしながら、労福協事務所を1Fに移転しました。同業他社においても苦戦が強いなかで、更なる運営効率化による収益拡大を念頭に、事業間の連携を深化させていきます。また収益事業における収支管理の一元化も視野に入れながら、適切な人員配置と従業員の処遇準化についても段階的に進めてまいります。

更にはメインバンクである北陸労働金庫による取引の信用査定引き下げが懸念されるなかで、収益事業の完全黒字化が至上命題となりました。理事会で確認した経営改善計画をもとに、月次の目標達成を積み重ねることが重要となっています。

さて一方では、市内電車の南北接続による駅北周辺の注目度も高まり、テナントの誘致が順調に進んでいますし、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されました。集団免疫の獲得には、まだまだ時間がかかると考えられますが、コロナ収束後のライフスタイルについては、感染拡大前に戻るとは思われません。今後も社会的距離に配慮した新しい生活様式を基準とする、お客様ニーズに応えられるよう万全を尽くしてまいります。

昨年ははじめての試みとして、富山産業展示館テクノホールにおいて、「親子でドライブ・イン・シアター」を実施し、マイカー71台で参加した親子連れのみなさんに楽しんで頂き、好評の下で成功裏に終えることができました。また当日は、フードドライブのご協力をお願いしたところ、参加した殆どのご家族に賛同いただき、大変多くの食品を集約して、フードバンクにお届けすることができました。ご協力を頂いたみなさまに感謝申し上げますとともに、次年度についてもソーシャルディスタンスに配慮した企画を展開していきます。

何れにしても、一昨年は労福協設立から60周年という大きな節目を迎えることができましたが、このたびは、誰もが想定し難い場面に直面し、苦渋の決断を強いられることになりました。今日に至るまで、先輩諸氏が生み育てきた「労働と福祉」の両輪を原点とする運動を次代に継承するため、これまで以上に地方連合会、構成組織、単組、各事業団体との連携を強化してまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い致します。

## 2021 年度重点実施項目

労福協の基本姿勢である「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざすと共に、収益事業の一部変更に伴う組織体制の見直しを実施します。収益事業間の連携を強化し、経営基盤強化と安定経営に取り組みます。

- (1) 勤労者福祉活動の推進
- (2) 経営基盤強化による安定経営
- (3) 事業変更に伴う組織体制の一部見直し(別紙)
- (4) 事業部の安定した収益確保に向けた連携強化
- (5) 福祉事業団体との連携強化
- (6) 各種委員会機能の強化

## I 労働福祉事業

勤労者の社会福祉の充実に向けて取り組むとともに、各種事業の効果的な運営に取り組みます。

### 1. 社会的な連帯を深める運動と政策の実現課題

- (1) 貧困・多重債務の解消と生活支援
  - ・消費者行政・相談機能の強化
  - ・生活困窮者自立支援法改正に伴う対応
  - ・銀行カードローン利用の注意喚起
  - ・学生支援に向けた奨学金に関する相談機能の強化
- (2) 消費者運動との連携
  - ・消団連の活動への積極的参加
- (3) 地球環境保全と食の安全
  - ・食の安全・安心の確保
- (4) 政策制度要求の実現
  - ・中小企業勤労者福祉の向上
  - ・中小企業勤労者福祉サービスセンターの拡充(県内広域化)
  - ・個別事業団体の重点要求の実現
  - ・給付型奨学金の制度拡充と改善
- (5) 防災・減災への取り組み
- (6) フードバンク活動のフォローアップ

### 2. 勤労者の総合生活支援(ライフサポート)

- (1) 勤労者の福祉推進事業
  - ① 勤労者福祉向上事業

- ・ライフプランセミナー (2月開催)
  - ・全国労働者福祉強化月間行事
- ② 文化振興事業
  - ・ゆとり支援事業 (4回)
  - ・美の祭典への賛助 (11月)
- ③ 子育て支援事業
  - ・スキー・スノーボードの集い (1・2月開催)
- ④ 消費者支援事業
  - ・税制学習会
  - ・防災・減災講習会
- ⑤ 勤労者生活応援事業
  - ・生活見直し相談会 (年2回)
- ⑥ 講演会の実施
  - ・労働者福祉・消費者支援等の講演
- (2) 勤労者の健康増進事業
  - ① ビーチボール大会 (6月開催)
  - ② ボウリング大会 (地域LSCにて)
  - ③ パークゴルフ大会 (5、6月開催)
  - ④ 健康づくり講座 (1月開催)
  - ⑤ 救命に関する講習会 (地域LSCにて)
- (3) 勤労者交流事業
  - ① 労働者の祭典支援事業 (4月)
  - ② 福祉事業団体新年祝賀会 (1月)
  - ③ 国際交流事業 (3月)
- (4) 退職者・高齢者の支援事業
  - ① 県退職者連合との連携強化
  - ② 労働者福祉事業団体OBとの連携
- (5) 地域ライフサポートセンターの活動推進事業
- (6) 福祉事業宣伝活動事業
  - ① 機関誌の発刊
  - ② ホームページの充実
- (7) 労働者福祉運動・事業の基盤強化
  - ① 福祉事業団体との連携強化
  - ② 労働者福祉運動を担う人材の育成・教育
  - ③ 労働福祉事業団体の活性化に向けた出前講座の実施

## II 収益事業（テナント事業・貸室事業・駐車場事業）

2021年度については、コロナ禍にありながらも昨年7月に決定した経営改善策の確実な実行による売り上げ目標の達成と利益確保により、安定した事業継続に向けて全職員一丸となって取り組みます。

富山駅の高架化、南北歩行者通路の開通、ライトレールの南北接続、更には富山駅北ブルーパールの再整備、小規模ホールの建設など駅北の活性化が進み、ボルファート会館への注目度も高まっていると思われます。こうした機会を逃すことなく、テナント・貸室・駐車場事業の連携をより一層高めながら売り上げの拡大と事業一体化の元での効率的な運営と経費の削減を図ることで財務体質の安定と強化に努めていきます。

### 1. テナント事業（労福協センター）

ボルファートとやま事業の相互の価値観をさらに高め、今後も継続して勤労者並び利用者の方々に満足してご利用していただけるよう計画的な取り組みを行います。

#### (1) 経営基盤の強化

- ① 空きテナントの入居促進に向けた周知と募集活動の強化
- ② 未収金の回収強化
- ③ ランニングコストの検証と見直し
- ④ 環境整備・各種法令遵守基本の会館運営
- ⑤ 将来に持続できる施設管理
  - ・計画的な施設の改修・修繕の実施
  - ・老朽化施設の厳格な点検と安全の確保

### 2. 貸室事業（ボルファートとやま）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、昨年8月末をもって自家調理を廃止、業務内容の大幅な見直しを行い、貸室を中心とした事業体制に変更しました。

今期も新型コロナウイルスの感染防止対策を更に徹底することに加え、新たな会議形態（WEB会議）に対応した設備、備品などの充実を図り、貸室の利用拡大に取り組みます。

また、貸室や弁当・記念品などの事業だけでは大幅な利益が見えないことを勘案し、テナント、駐車場事業との連携強化で、相互の業務内容にこだわらず効率的な運営を図ります。

加えて、新たな事業展開も検討しながら事業の安定化と共に収支予算の達成を目指していきます。

#### (1) 安全衛生の徹底

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の徹底
- ② 職場環境の改善と全職員の健康維持管理

#### (2) 売上拡大

- ① 新たな会議形態に対応した備品、機材の充実で新規顧客の獲得・拡大

- ② リピーター営業による確実な顧客確保
  - ③ 各エージェント営業で県外顧客の誘致
  - ④ ホームページ改修並びに DM 発送での顧客誘致
  - ⑤ JR 富山駅近を強みとした貸室営業
  - ⑥ 顧客満足度の向上
  - ⑦ テナント事業と連携し、入居テナント各団体の利用拡大
- (3) コスト意識の確立
- ① 無理・無駄の排除
  - ② 備品管理の徹底
  - ③ セクショナルリズムの撤廃による業務シェア意識の向上
- (4) 働き方改革の推進
- ① 有給休暇の取得促進
  - ② 時間外労働時間の短縮
- (5) 新たな事業展開の検討
- ① 施設と駅近という好立地を生かした、これからの働き方に最適で利便性の高いワークスペースが提供できる新たな事業展開を検討していきます

### 3. 駐車場事業(富山北モータープール)

新型コロナウイルスの影響により、富山駅北周辺における各種イベントの中止や延期が相次いだことから時間貸し駐車料の収入は大幅に減少しました。また、リモートワーク等の導入によって定期利用者の減少もみられましたが、新規のテナント入居による定期利用者の確保により、影響は僅かなものに抑えることができています。

駐車場事業の収益改善においては、貸し室の利用増および駅北周辺での各種イベントの再開が必須であり、今後、ワクチンの接種が進み、コロナ禍の収束が早期に進むことを期待しますが、利用者にとって使いやすく、安全・安心な駐車場であるために、以下の項目について優先順位をつけながら取り組んでいきます。

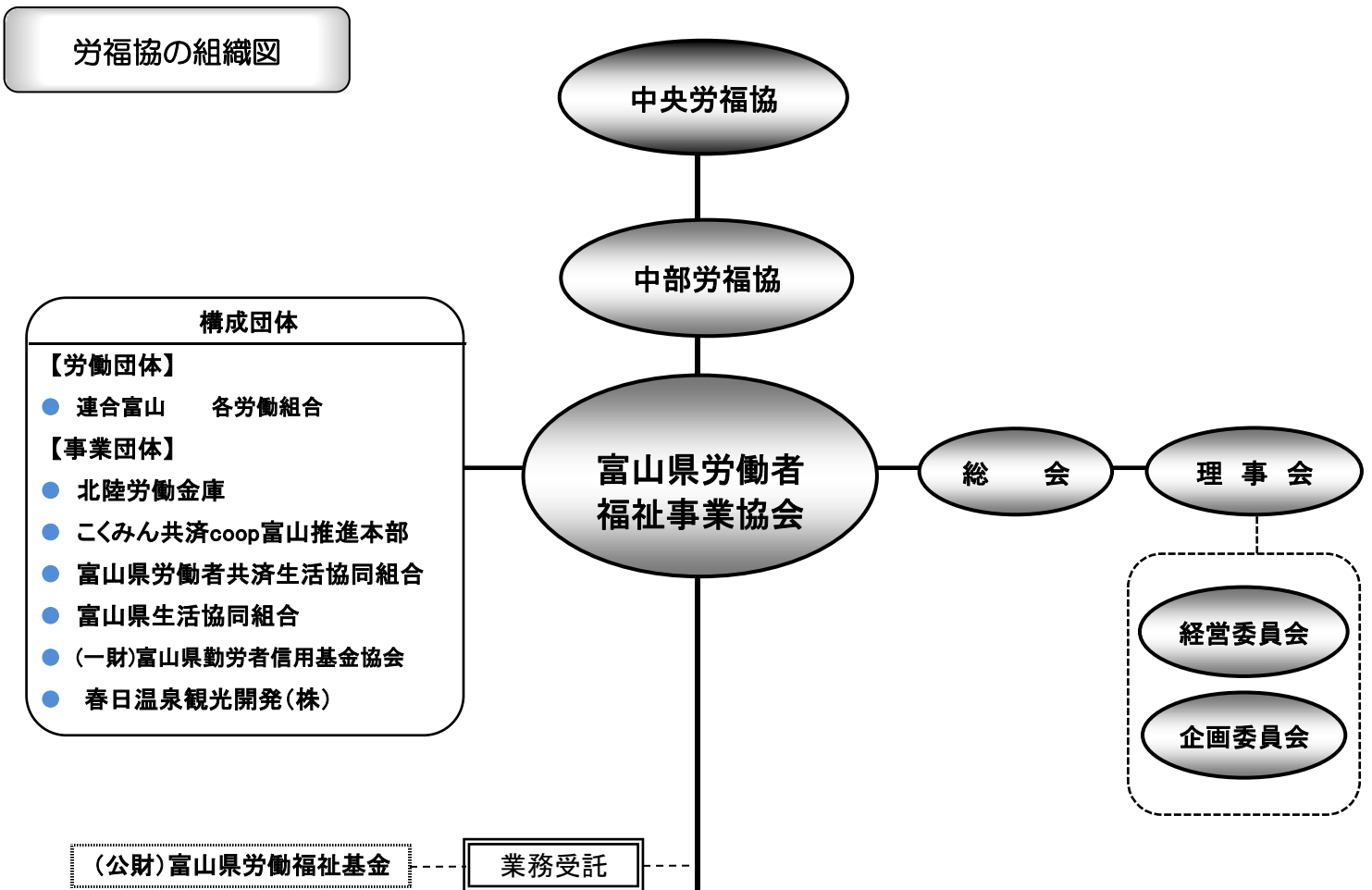
- (1) 貸室事業との連携及び事業企画の検討
- (2) 周辺施設との連携強化
- (3) 貸倉庫の利用促進
- (4) 老朽化対策の対応(雨漏り対策・腐食防止など)
- (5) 利用者への親切的な対応とサービスの向上

### 4. 各種委員会の充実

- (1) 事業運営委員会
- (2) ボルファート推進委員会

# 一般社団法人富山県労働者福祉事業協会の組織体制

## 労福協の組織図



## 労福協の業務図

